

陸自オスプレイ（V-22）の飛来について

令和7年4月
防衛省

陸自オスプレイ（V-22）はこれまで段階的に飛行のプロセスを進め、飛行実績を積み重ねているところ、**各種飛行訓練により運用の実効性向上を図っていくことは、各種事態における自衛隊の対処能力を強化するために極めて重要**となっています。

陸自オスプレイ（V-22）は隊員等を輸送するための重要な装備品であり、**部隊の任務遂行にあたっては様々な飛行場、演習場等における飛行を通じて、操縦士等の技能を向上させることが不可欠**であるため、今般、**陸自オスプレイ（V-22）による空中機動訓練（※1）を大村航空基地（航空基盤として使用）及び鹿屋航空基地で実施する計画**です。

※1 オスプレイによる空中機動を遂行し得る能力を保持するため、物資等の輸送を想定した各地域への飛行、降着・離陸、地上に所在する関係部隊等との調整を実施するもの

※2 早朝及び夜間の飛行は計画しておりません

【訓練日程等】

日程： 4月15日（火）〔 予備日： 16日（水） 〕

〔 4月14日（月）木更津駐屯地から大村航空基地へ移動 〕
〔 4月17日（木）大村航空基地から木更津駐屯地へ帰投 〕

区間：大村航空基地～鹿屋航空基地～大村航空基地

機数： 1機～2機程度

【陸自オスプレイ（V-22）】

